

1 日英同盟と日露戦争

【学習課題】

1. 列強の中国分割（日清戦争後、清国の状況）

・右の風刺画は、日清戦争後の中国の様子を描いている。中国はどのような状態になったのか、風刺画がから読み取ってみよう。



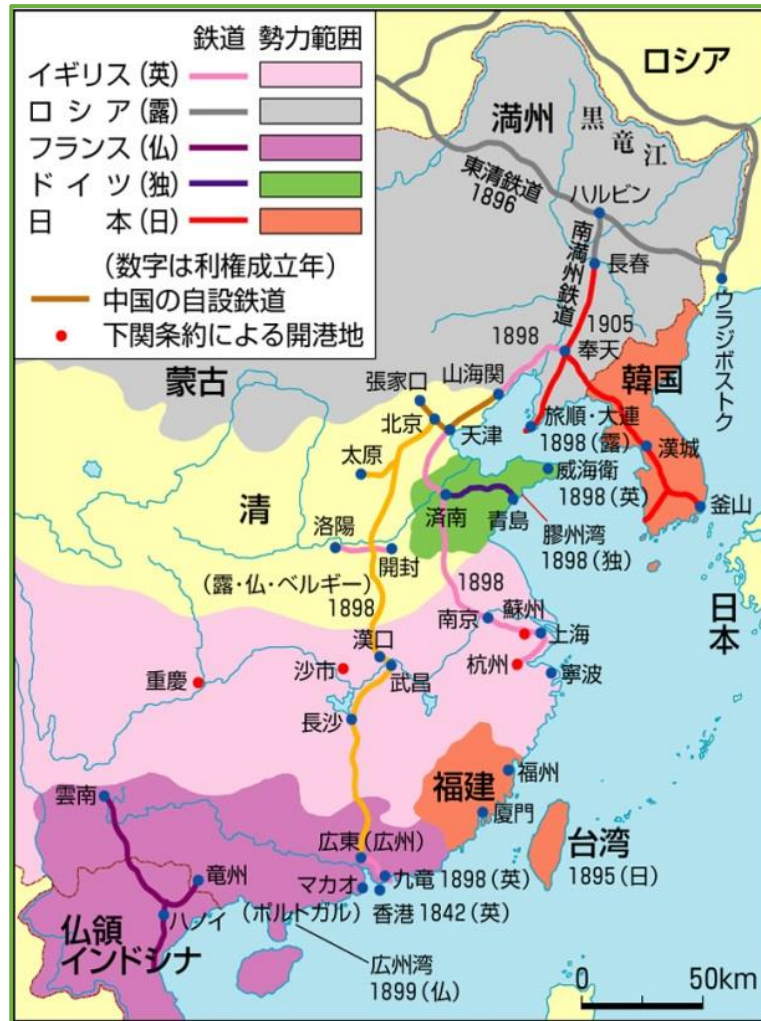
勢力圏

・・・利権（鉄道敷設権や鉱山採掘権）を認められた地域

租借地

・・・期限付きで割譲された地域

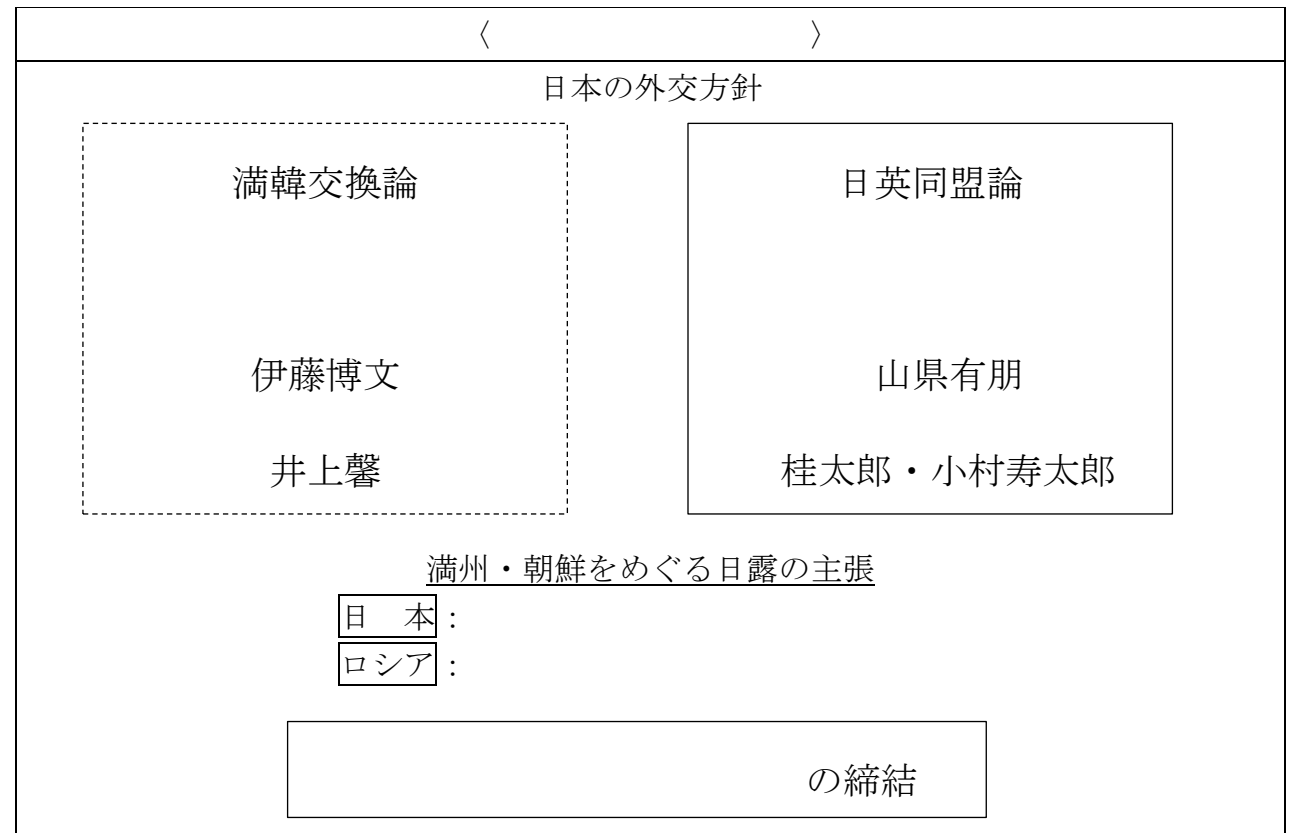
勢力圏と租借地	
独	山東半島の膠州湾
露	
英	九竜半島の威海衛
日	福建省・
仏	広州湾
米	



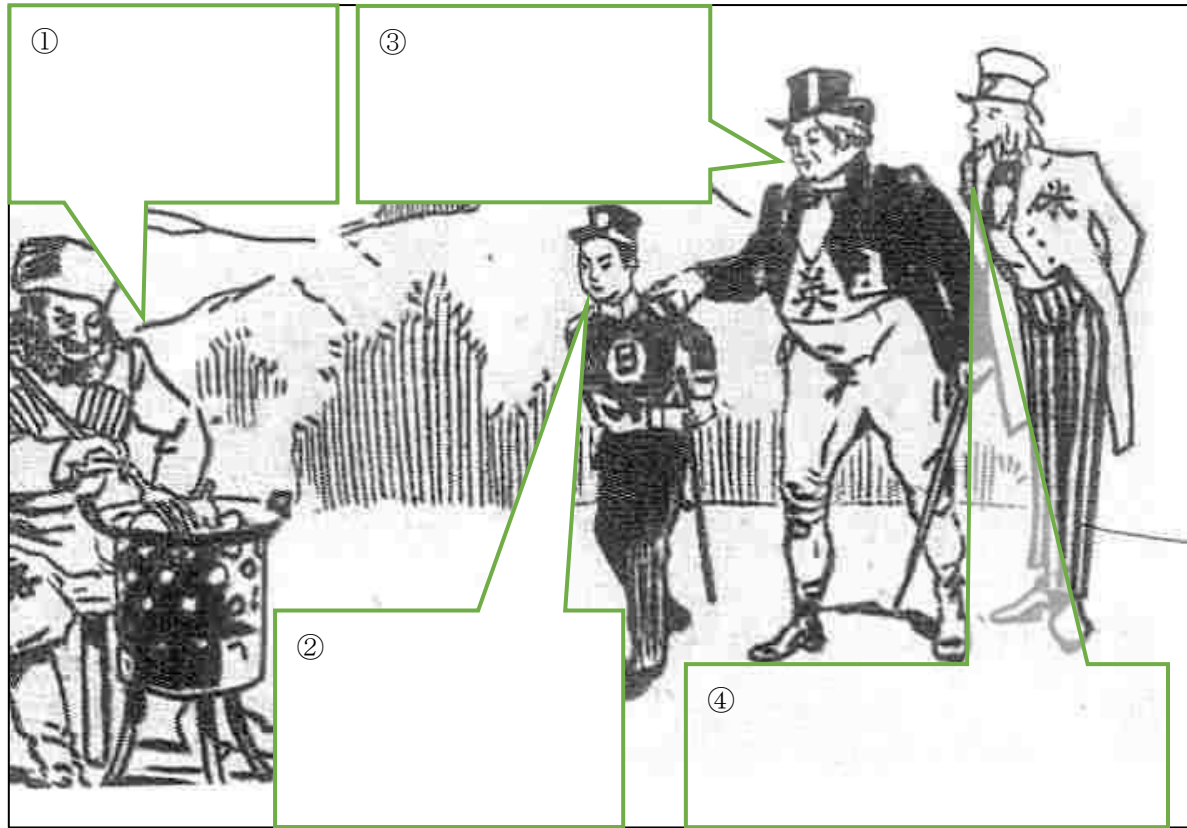
※門戸開放宣言・・・中国の進出に出遅れたアメリカ（ジョン=ヘイ）が、列強各国に対して宣言した。中国には平等に進出すべきであるという機会均等と合わせた、アメリカの中国政策。アメリカは、満州での鉄道経営に関心を持っていた。

2. 北清事変と日英同盟（中国分割後の清や朝鮮の状況と日本政府内の動き）

< >		< >	
1899	: 「扶清滅洋」のスローガン	宗主国であった清の敗北	
1900	義和団に清国政府が同調，列強に宣戦 → 連合軍出兵（日・露・英・米・仏など）	↓ の支援で 日本に対抗する動き	
1901	北京議定書 ①多額の賠償金 ②列強軍隊の北京駐留権・治外法権	↓	1897 大韓帝国の成立



風刺画から日露戦争をめぐる国際関係を読み取ろう。(各国の考え・思惑)



★イギリスはなぜ日英同盟を結んだのか。(日露戦争への考え)

日英同盟 (第一回日英同盟協約)

第1条 ……日英両国の利権に関しては、イギリスにとっては主に()における利権、日本国にとっては清国において持っている利権に加えて、()においては政治・経済・商業・工業上に格段の利権をもっている…日英の両締約国はいずれもその利権を守るため、必要不可欠な措置をとることができることを認めあつた。

第2条 もし日本国かイギリスの一方の国が上記の利権を守るために別の国と戦争を開始した時には、日英の一方の国は厳正中立を守るとともに、同盟国に対してほかの国が戦争に参加しないように外交上努力する。

第3条 さらに上記の場合において、もし日本またはイギリスが単独で2カ国以上と戦争をせざるを得なくなった場合は、一方の国は援軍を派遣して援助し、協力して戦争を遂行するものとする。

3. 主戦論・反戦論 (国民の戦争に対する考え方)

七博士の満州問題意見書

ああ、わが日本はすでに三国干渉による()返還で勢力を拡大する機会をのがし、三度目の機会となる北清事変までも何も得るものがなかった。どうしてこのように前回の失敗を重ねるのであるだろうか。

…それにひきかえロシアは朝鮮に焦点をあてて問題を起こそうとしている。朝鮮を国際紛争の中心にすれば、満州は当然ロシアの勢力圏内に入ったものと解釈できるからである。ゆえに、アジアの現在の問題点は、満州はどこの勢力圏かを決定することである。

…ああ、我々日本人は、千年に一度あるかないかのチャンスを失うことに注意する必要がある。また、このチャンスを失えば、ついに、日本の存立があやうくなることを自覚すべきである。最後の決心をもって満州の帰属という大問題に決着をつけねばならない。

内村鑑三の戦争廃止論 (『万朝報』)

私は日露非開戦論者であるばかりでない。戦争絶対的廃止論者である。戦争は人を殺すことである。そして人を殺すことは大罪悪である。そして大罪悪を犯して個人も国家も永久に利益を得られるはずがない。

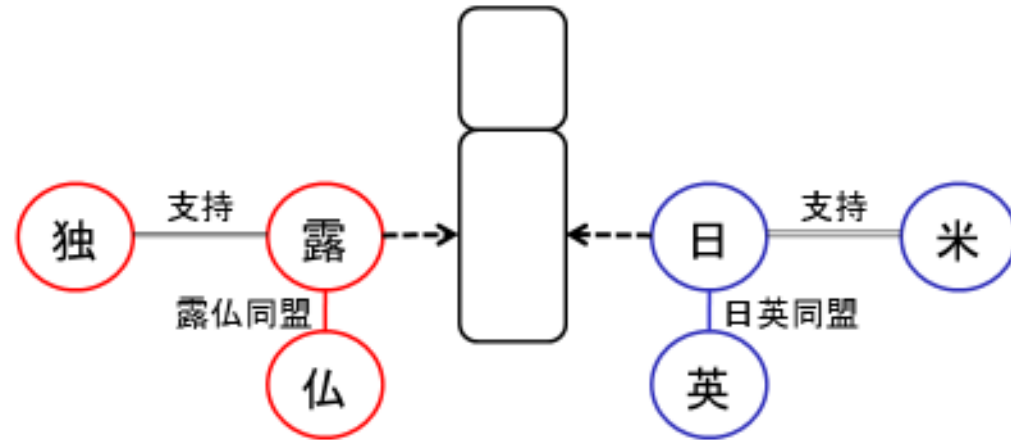
…世の中には戦争の利益を説く者がある。私も一時はそのような愚を唱えた者である。しかしながら、今に至ってそれは愚の極であったことを表白する。

…もし世に大愚(非常に愚かなこと)の極と言うべきものがあるとすれば、それは軍事力によって国を発展させようとする事である。

…近くはその実例を、1894年の日清戦争において見ることができる。2億の富と一万の生命を消費して、日本国がこの戦争から得たものは何であるか。わずかばかりの名誉と、伊藤博文の地位が向上し、彼の愛人が増えたこと以外に、日本国はこの戦争から何の利益を得たか。

…その目的だった()は弱められ、欧米による()が始まり、日本国民の負担はととも増加し、その道徳は非常に墮落し、東洋全体が危険におちいったではないか。このような事態を目前にして、なおも開戦論を主張するようなことは、正気の沙汰とはとても思えない。

4. 日露戦争



国内の世論	対露主戦論 『東京朝日新聞』 対露同志会	非戦論・反戦論 キリスト教徒： 社会主義者：幸徳秋水 『平民新聞』 堺利彦

【戦争の経過】

宣戦布告

陸軍： 旅順占領
 : 奉天会戦

海軍：

…薩摩藩出身 連合艦隊司令長官
 丁字戦法でバルチック艦隊を壊滅

「皇国の興廃この一戦にあり。
 各員一層奮励努力せよ。」



戦費： 約 億円 (外債 億円=米・英)

日銀副総裁高橋是清の海外派遣, 非常特別税など

【講和会議】

場所：アメリカ東海岸北部 ポーツマス

条約名： 仲介：

全権： 日本 ロシア

・条約の内容 (日本とロシアの取り決め)

1. 指導・監督権
2. 旅順・大連のと長春以南の鉄道権益
3. 北緯 50 度以南の樺太割譲

※

・なぜアメリカ大統領は、日本とロシアの仲介をしたのか。(アメリカの思惑)

【日露戦争後の国内・国民の状況】

【日露戦争前後での日本人観の変化】



★2つの風刺画から、日露戦争の前後で国際社会が日本を見る目はどのように変化したのだろうか。

